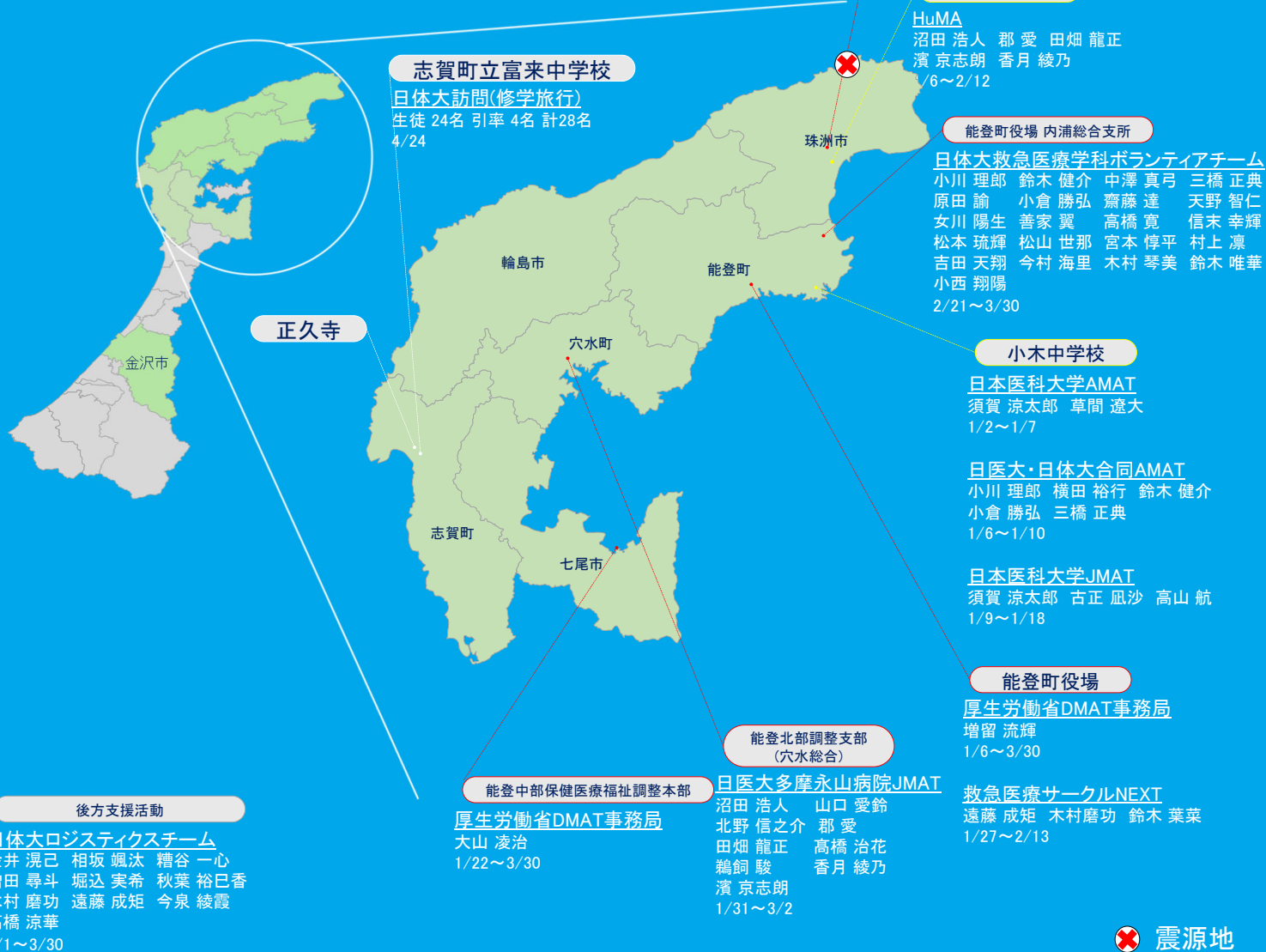


令和6年能登半島地震

令和6年度能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
日本体育大学救急医療学科は、一日も早い復興をお祈りしております。

災害医療は、救急医療学科の三本柱の一つです。
震災の超急性期から慢性期にかけて本学科教員、大学院生、学生総勢43名が医療支援活動やボランティア活動、本部活動を実施しました。
様々な災害派遣チームでそれぞれの得意分野を活かし役割を果たしました。



活動チーム説明

組織名	組織正式名称	組織説明
厚生労働省 DMAT事務局	災害派遣医療チーム (DMAT: Disaster Medical Assistance Team)	災害時に、被災地へのDMAT隊(医療支援チーム)派遣調整等の業務を行っている。
AMAT	全日本病院医療支援班 (AMAT: All Japan Hospital Medical Assistance Team)	災害時の急性期～亜急性期において、高齢者や障害者にも配慮した医療救護活動を行なえる災害医療チーム
JMAT	日本医師会災害医療チーム (JMAT: Japan Medical Association Team)	被災者の命や健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療の再生を支援することを目的とする災害医療チーム
HuMA	災害人道医療支援会 (HuMA: Humanitarian Medical Assistance)	国内外の自然災害・人為災害を問わず、あらゆる種類の災害を対象に活動をおこなう災害医療チーム
災害医学会	災害医学会 コーディネーションサポートチーム	災害時に圏域内の医療情報を集約・一元化し、医療資源の配分、収容先医療機関の確保等の医療救護活動等を統括・調整等を行う医師のサポートをおこなう。
日体大 ロジスティクスチーム	日本体育大学救急医療学科 ロジスティクスチーム	災害発生から約4時間で、発足した救急医療学科のロジスティクスチーム。 超急性期では、被災地域の情報収集、支援計画の立案をおこない、 現地派遣チームには、情報の後方支援活動をするチーム。